



医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信 第90号

(R3/6/23)

第92回ワーキンググループ会議 (R3.5.27)



「アドバンスケアプランニング (ACP) の
情報共有システムの構築を目指して」
滋賀県立総合病院 (守山・野洲医師会)

犬塚 康孝さん



現在の ACP 推進における課題と医療・介護職が成すべきこと

ACP という概
念を知らない

ACP という言葉は
知っているけど、実
際どうしたらよい
か分からない

在宅、もしくは入院中
に話し合われた内容、
‘思い’ が、双方向に
引き継がれない

- ✓本人、家族、医療者での、治療・ケアに関する話し合いを繰り返し行う
- ✓本人の価値・目標の明確化
本人、家族の‘思い’を集める
- ✓代理決定者の選定
- ✓患者の望みの文書化

これらを記録し共有
することが大切!

- ✓ ACP の情報共有システムの確立

普段のケアの中で
ちょこちょこ
情報収集して
みんなで共有し
ましょう!

守山野洲在宅医療協議会分科会 医療介護情報共有推進チームの取組

- ①ちょこちょこ ACP の実践 / マニュアル作り
- ②ACP シートを活用した情報共有システムの構築
アナログ; 情報共有手帳の作成
在宅療養手帳の利用許可申請
デジタル; びわ湖あさがおネットを使用
- ③啓発および ACP シートの活用に関する
研修会の開催



ポイント

- ★ACP は繰り返し話し合うことなので、より早期からの情報共有を目指しましょう
- ★ちょこちょこ ACP を通して、療養者さん・家族の思いを集め、共有していきましょう
- ★本人、家族、多職種のスタッフで繰り返し人生会議をして、その内容を皆で共有しましょう
- ★大切なのは、何が本人にとって幸せなのかを常に考えながら向き合うこと

参加者の声

- ◎「ACP について深く考えずに、できることから」という犬塚先生の意見を聞き、心が軽くなった。ACP は“死”を考えることではない。“どう生きたいのか”という視点で、構えずに話し合いたい。
- ◎家族の在宅介護を経験したが、エンディングノートのおかげで本人の意思が尊重できた。身近な存在である家族は、本人の思いをちょこちょこメモ書き程度に記していくことが大切。終末に向かうためではなく、今年目標みたいな感覚で話をすると、本人の思いが聞けるのではないかと。
- ◎以前、親にエンディングノートを勧めたところ「まだ早い」と一蹴され、将来の本人の意思の推定に繋げる取り組みは難しいと感じた。平時に最期のときを想像することは難しいが、「自分事」と捉えていくことが大事だと感じる。
- ◎医療職や介護職以外の方にとって、ACP はまだまだ馴染みのある言葉ではないので、周りの身近な方々との会話のなかで、そうした意識をもつことの大切さを伝えていきたい。
- ◎人間の気持ちは変化していくが、変化する気持ちに対応できているのだろうか。
- ◎ ACP は大切だが、きっかけをつかむことが難しい。また、共有する方法が限られており、その中で ACP をどうやればよいかわからないため敷居が高く感じている。
- ◎手帳やファイルを新たに作成すると管理する物の数が増え現場の負担が増える。既存のものをうまく活かして ACP となる情報を入れていくことが、システムをうまく動かしていくためには必要であると思う。
- ◎ACP に馴染みのない患者は「この話題がでるということは自分はもうすぐ死ぬのか?」と驚くことがあるようだ。一般の人にも理解を得ることがシステム構築に必要なのではないかと。

県庁の大会議室を拠点に、対面と Web で開催し、医療職・介護職をはじめ、大学教員、学生、地域包括支援センター職員など、67名 (Web49名、会場18名) の参加がありました。

おしらせ

○令和3年6月24日 (木) 18:30~20:00
テーマ:「良かった」と思える最期を迎えるために~施設現場から~
講師: 滋賀県老人福祉施設協議会 顧問
/特別養護老人ホーム けやきの杜 施設長 藤居 真さん

○令和3年7月15日 (木) 18:30~20:00
テーマ:「突然訪れた『生命の選択』=家族の立場から=
講師: 久泉 和久さん・みちるさん ご夫妻

グループワークを再開します!



昨年度から対面での開催を見送り、それに伴ってグループワークを中止していましたが、今年度からは zoom でもグループワークを再開することにしました。進行や発表で皆様に協力を求めることも増えると思いますので、ご協力よろしくお願いたします。

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議運営事務局
(滋賀県庁 医療福祉推進課内)
TEL: 077-528-3529
FAX: 077-528-4851
E-mail: info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp